

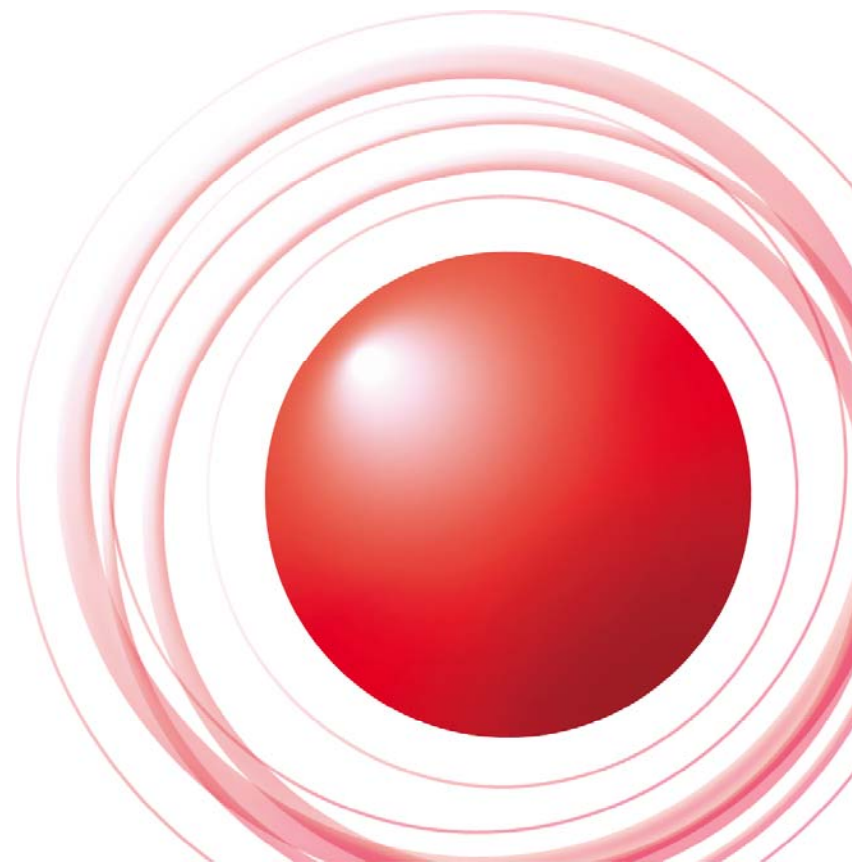
平成23年3月期 決算短信〔米国会計基準〕（連結）
（別紙）参考資料：「2011年3月期（平成23年3月期）連結業績説明会資料」

2011年3月期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード：3774）
2011年5月13日

Ongoing Innovation



アジェンダ

I. 2011年3月期 総括

II. 2011年3月期 連結業績

III. ご参考資料

I. 2011年3月期 総括

＜2011年3月期 実績＞

・営業収益(売上高)	82,418百万円 (YoY 21.2%増)
・売上総利益	16,590百万円 (YoY 18.9%増)
・営業利益	4,141百万円 (YoY 21.4%増)
・税引前純利益	3,834百万円 (YoY 34.1%増)
・当社株主帰属当期純利益	3,203百万円 (YoY 43.4%増)
・年間配当	1株あたり 2,750円(YoY 22.2%増)

＜2012年3月期 見通し＞

・営業収益(売上高)	100,000百万円 (YoY 21.3%増)
・営業利益	6,300百万円 (YoY 52.1%増)
・税引前純利益	5,600百万円 (YoY 46.1%増)
・当社株主帰属当期純利益	3,400百万円 (YoY 6.1%増)
・年間配当	1株あたり 3,000円(YoY 9.1%増)

クラウド元年にて他社に先駆けIJJ GIO開始のうえサービスラインアップ強化、案件獲得及び設備拡充に積極注力

- ネットワークサービス売上は39.7%増 YoY、SI売上は2.1%減YoY
 - アウトソーシングサービス売上は順調に継続伸張、9.6%増YoY
 - IJJグローバルソリューションズ買収にてWANサービス他への売上寄与151億円(7ヶ月分)
 - SI売上は1Qからの個別大口取引縮小影響大きく(売上影響△50億円)、他案件確保するも、案件中小型化傾向、震災による遅延・潜在案件未発生もあり、想定未達
- 営業利益は21.4%増YoYの41億円
 - IJJグローバルソリューションズ買収による利益効果12億円(7ヶ月分)
 - ネットワークサービス粗利水準はほぼ想定どおり
 - SIは個別大口取引縮小による利益減影響大きく、またクラウドの先行的投資・費用増あり、想定未達
 - 震災利益影響約1億円、無形固定資産除却等・資産除去債務費用計上との個別要因約2億円

社内情報システムへのクラウド普及・アウトソーシング化に向け中期的に大幅事業拡大展望

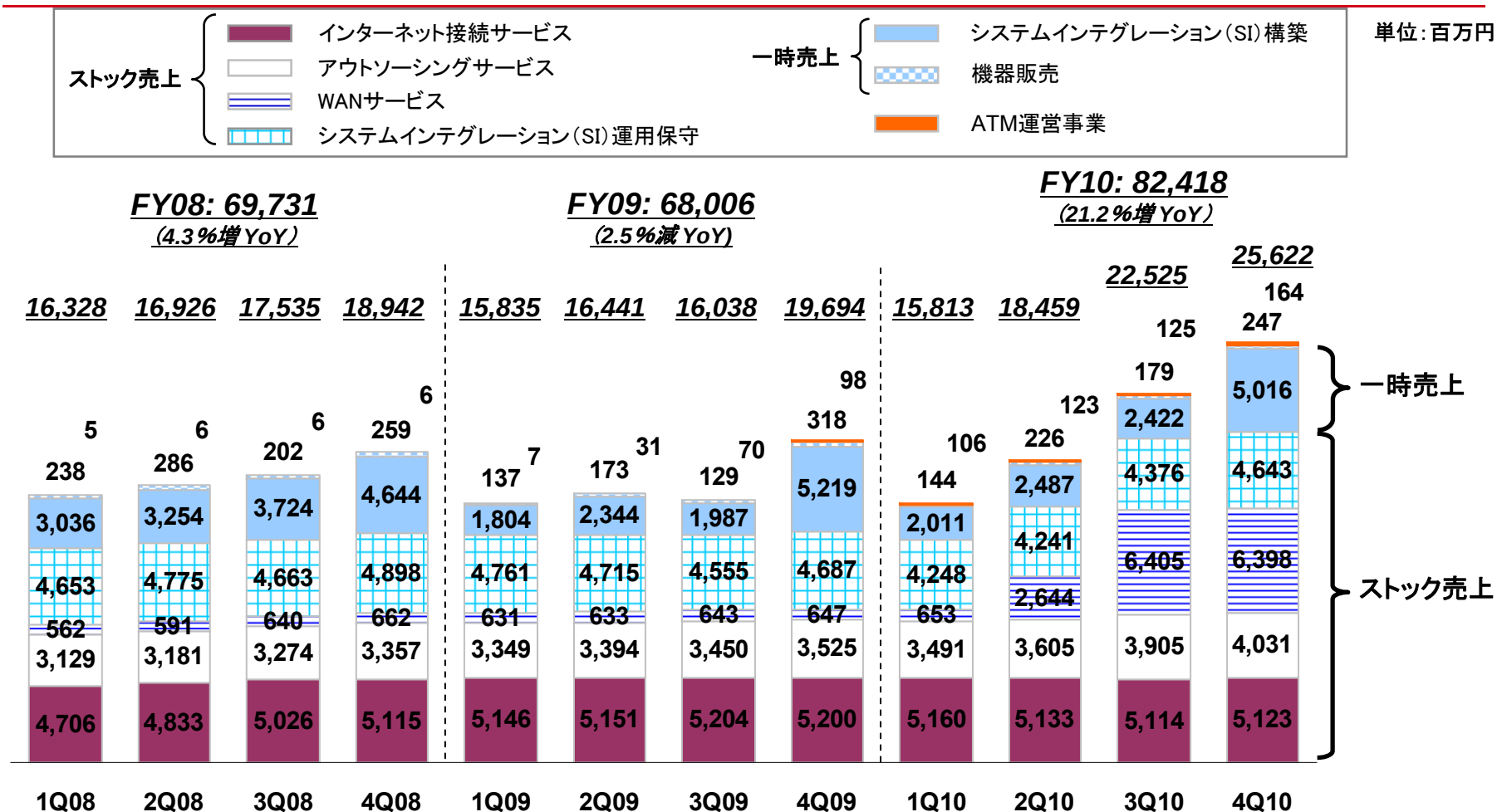
- 2012年3月期 売上見通しは1000億円、176億円増YoY
 - クラウドはじめ売上継続伸張、クラウド売上は30億円超規模想定(FY10:約6億円)、FY10にあったSI個別大口取引縮小による減収要因なし
 - IJJグローバルソリューション売上の通期寄与
 - ATM運営事業立ち上がりに伴う増収
- 2012年3月期 営業利益見通しは63億円、22億円増YoY
 - クラウド収支改善による増益、既存サービス・SI増益約11億円
 - IJJグローバルソリューションズ利益の通期寄与 約5億円
 - ATM運営事業立ち上がりに伴う増益 約6億円
- 中期スパンでクラウド化を起因に業界構造の大きなパラダイムシフトを想定。絶好のビジネスチャンスと捉え、5ヵ年程度で事業規模倍増とするような加速成長を展望

Ⅱ -1. 2011年3月期連結実績サマリー

単位: 億円

	売上比 FY10 (10/4~11/3)	売上比 FY09 (09/4~10/3)	前年同期比	売上比 FY10 計画 (10/4~11/3)
営業収益 (売上高)	824.2	680.1	21.2%	845.0
売上原価	79.9% 658.3	79.5% 540.5	21.8%	—
売上総利益	20.1% 165.9	20.5% 139.6	18.9%	—
販売管理費等	15.1% 124.5	15.5% 105.4	18.1%	—
営業利益	5.0% 41.4	5.0% 34.1	21.4%	5.7% 48.0
税引前 当期純利益	4.7% 38.3	4.2% 28.6	34.1%	4.9% 41.0
当社株主に 帰属する 当期純利益	3.9% 32.0	3.3% 22.3	43.4%	3.6% 30.0

Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移

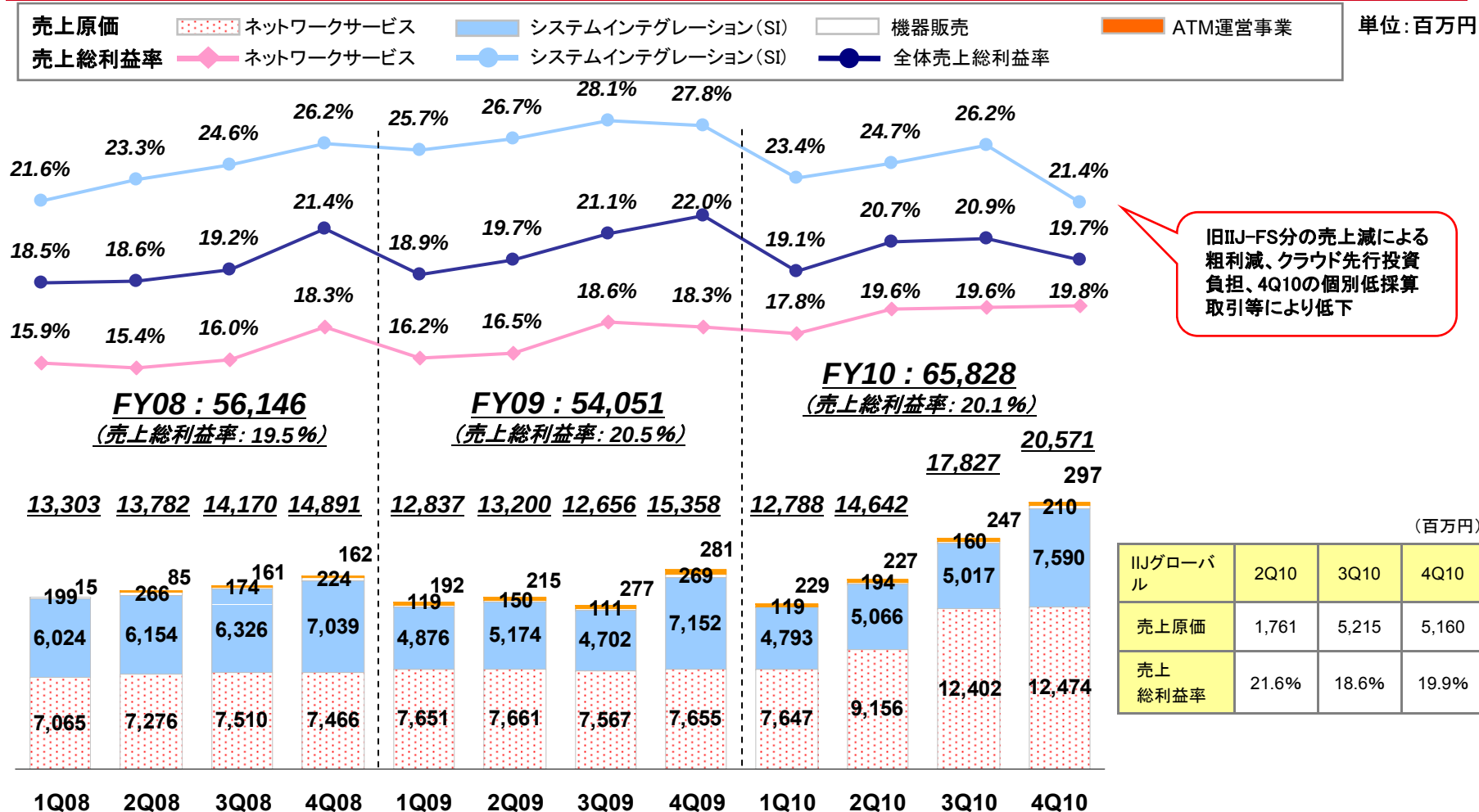


◆FY10 営業収益:

- (増収要因) 法人向けインターネット接続サービスやアウトソーシングサービスの継続伸張、IIJグローバルの売上寄与(7ヶ月分)により増加
- (減収要因) SI売上は個別大口取引縮小影響大きく、案件中小型化、震災影響もあり減少。個人向けインターネット接続サービスは旧式サービス継続解約と個別OEMサービスの終了影響等により減収

◆IIJグローバル営業収益: FY10(7ヶ月分): 15,094百万円(4Q10: 6,442百万円、3Q10: 6,406百万円、2Q10: 2,246百万円)(主にWAN、一部SI)

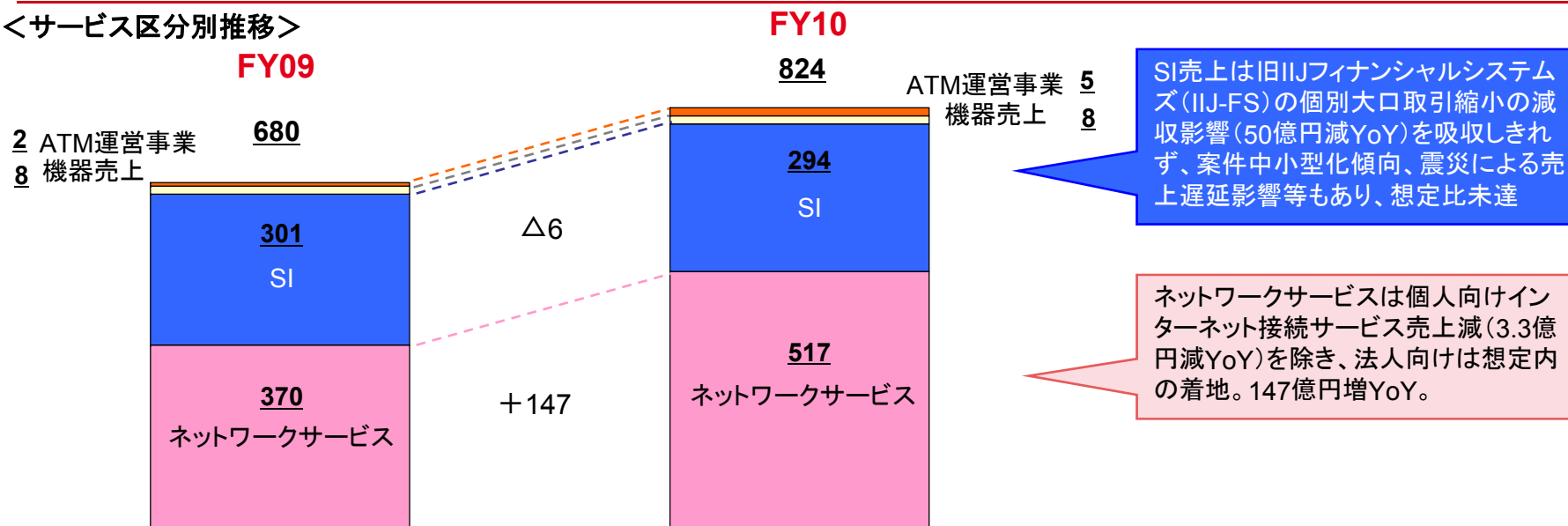
Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移



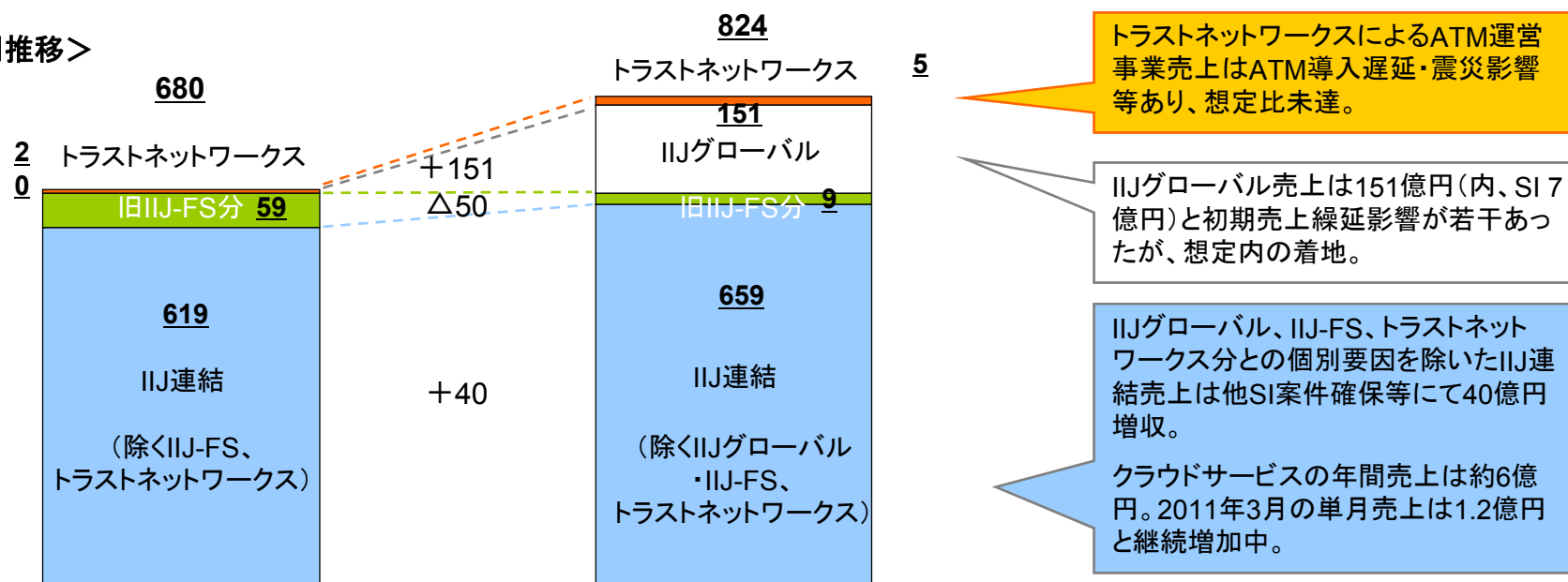
Ⅱ-4. 売上高増減要因

単位: 億円

<サービス区分別推移>



<会社別推移>

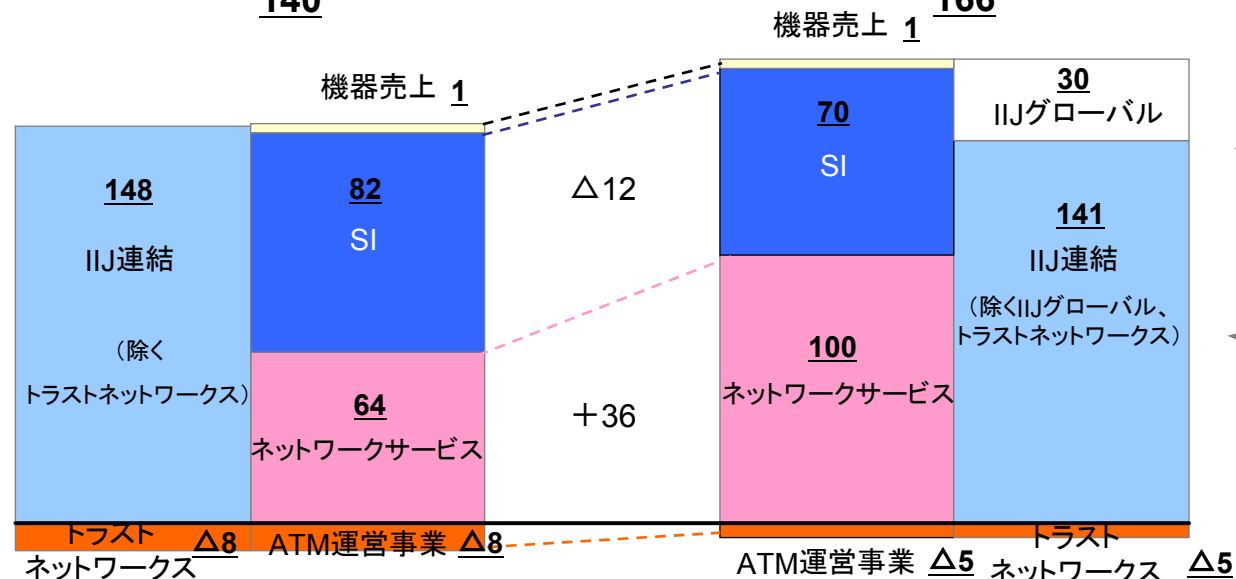


Ⅱ-5. 利益増減要因

単位: 億円

<売上総利益> **FY09**
140

FY10
166



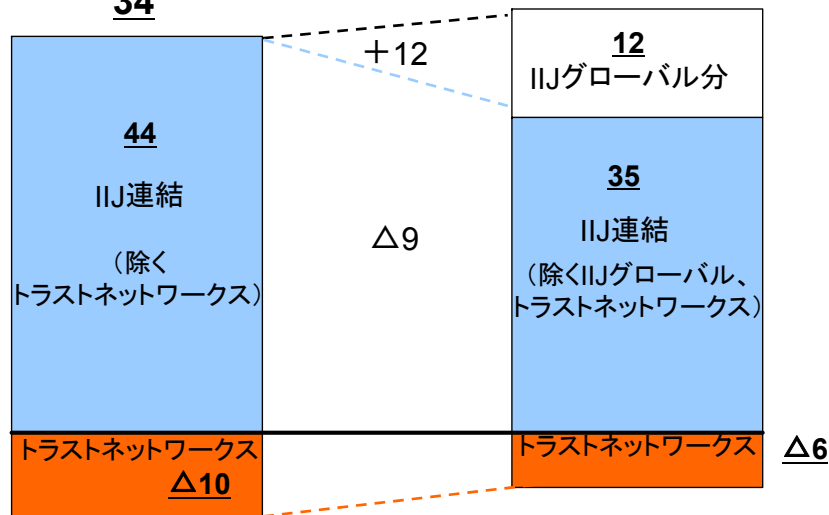
SI粗利は、IIJ-FS分50億円減収による粗利減要因大きく、SI売上未達、クラウド先行投資負担、4Q10の個別低採算取引等あり、想定より10億円超乖離。

個人向けインターネット接続サービス売上減は原価コントロールで吸収し、ネットワークサービス粗利は想定内の着地。前年度比36億円増。

<営業利益>

34

41



販売管理費は低減推移したものの、SI粗利下振れを吸収しきれず。

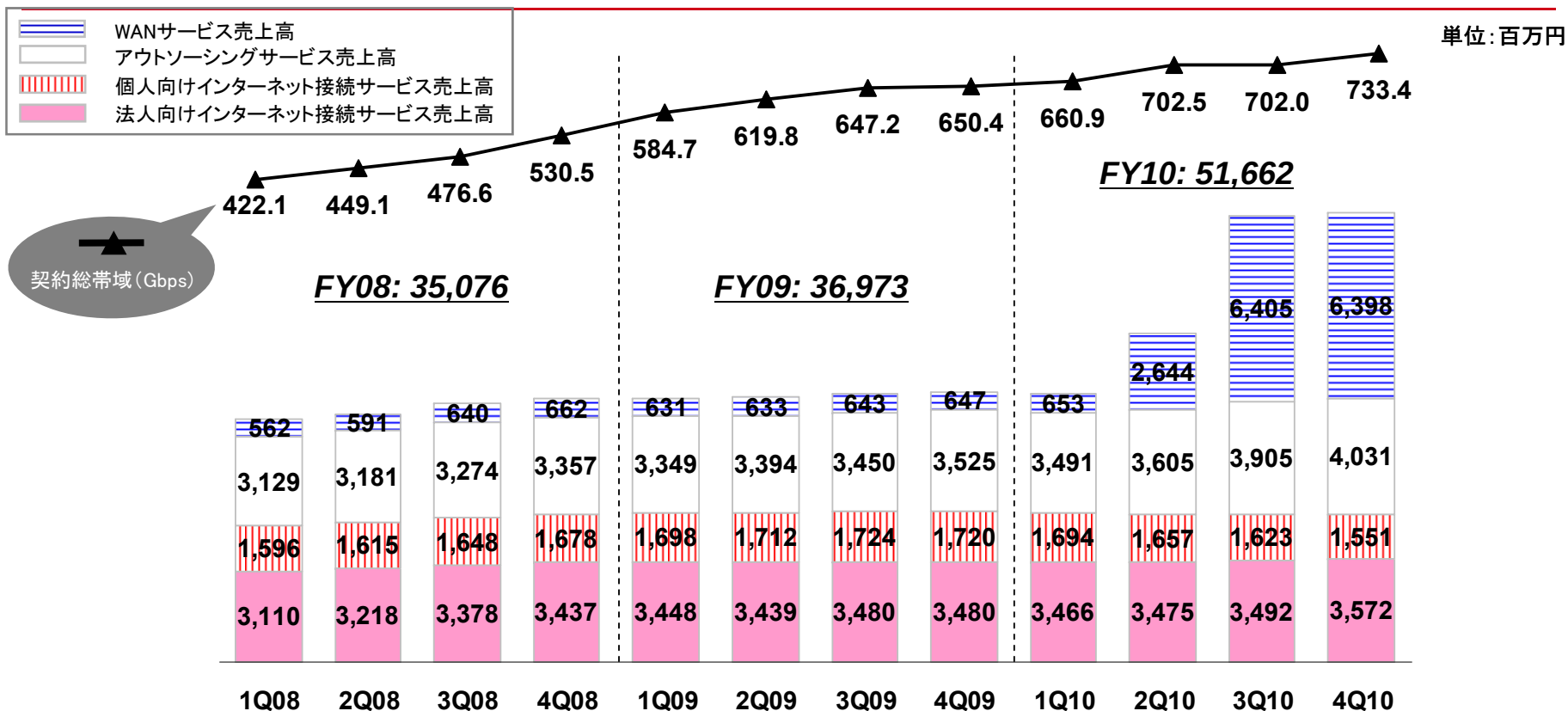
無形固定資産除却、資産除去債務費用計上等にて、約2億円の見込み外の個別費用計上。

震災による利益影響額は1億円弱程度。

ATM運営事業は、売上未達より、想定より2億円強の利益乖離。

Ⅱ-6. ネットワークサービス

① 売上の推移

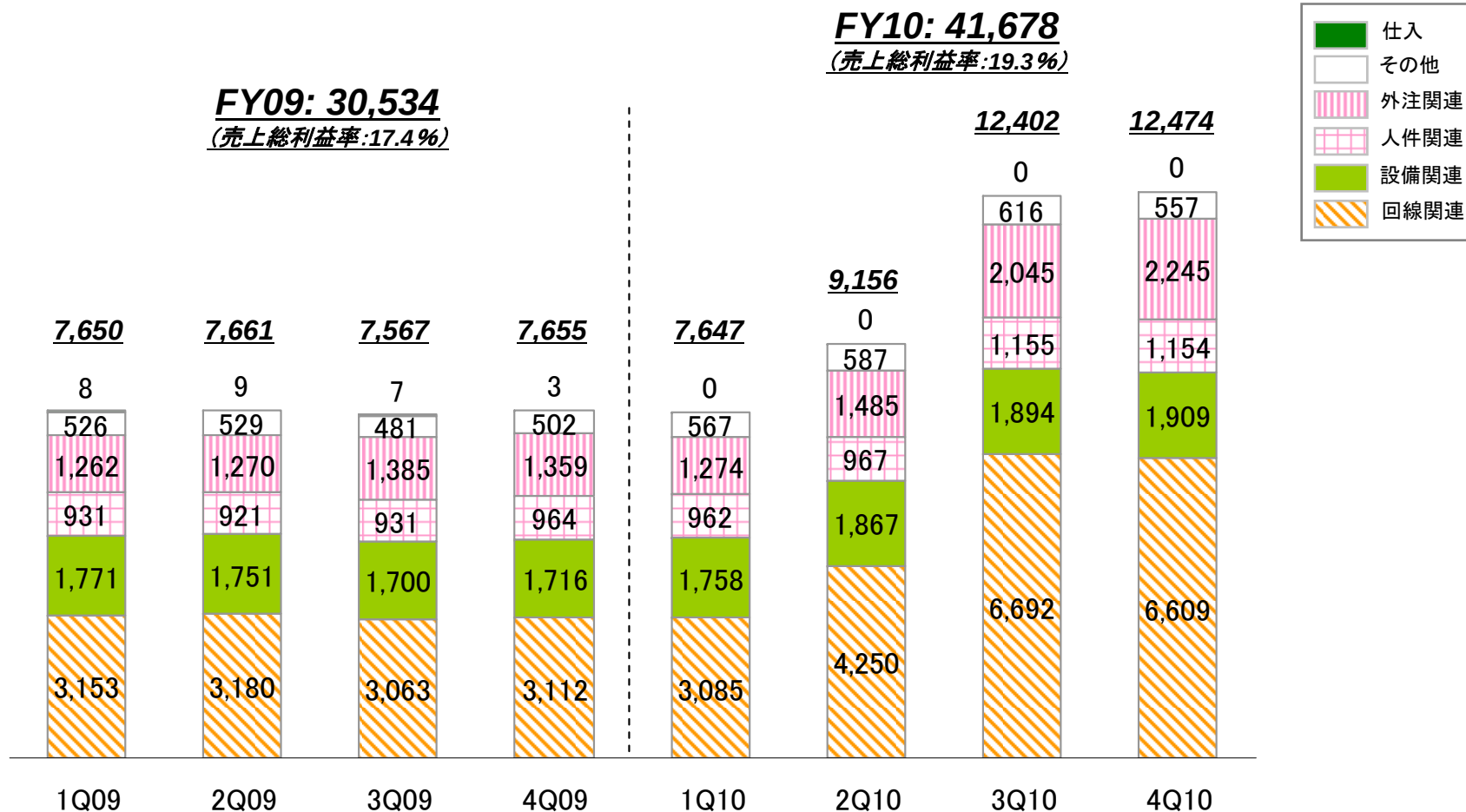


- ◆FY10 法人向けインターネット接続サービス: 14,005百万円(FY09比 1.1%増)
 - ▶IPサービス売上高は、期初に顧客統合等より減少したが、期中継続増加。4Q10売上高は3Q10比 1.3%増加
 - ▶IIJモバイル売上高は、1,000台規模のiPadソリューション案件受注やM2M案件獲得等により、1,738百万円(FY09比 24.5%増)
 - ▶モバイルサービス累計受注回線: 5万回線超へ
 - ▶ブロードバンド対応型サービスは、LaITサービスOEM展開により契約件数増加(4Q10末にて42,851契約、前年同期末比 +14,188契約)
- ◆FY10 個人向けインターネット接続サービス: 旧式サービスの継続解約、個別OEMサービスの予定終了、震災による減免影響等により減収
- ◆FY10 アウトソーシングサービス:
 - ▶迷惑メール対策・Webセキュリティ等のセキュリティ関連、データセンター関連、映像配信関連、クラウド関連サービス等、各サービスにて契約順調積み上げ。IIJ GIO売上高はシステム運用計上分含め4Q10末にて月額120百万円強と成長中

Ⅱ-6. ネットワークサービス

② 原価の推移

単位: 百万円

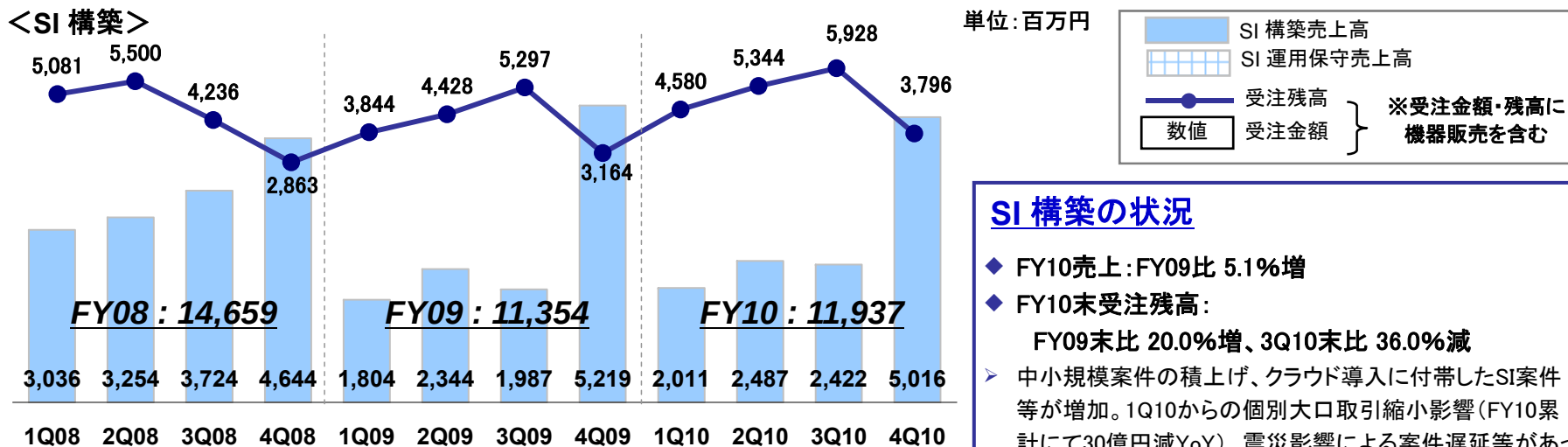


◆FY10 ネットワークサービス原価総額：

- IIJグローバルの子会社化により主として回線関連費用及び外注関連費用等が増加。
- IIJグローバル影響(7ヶ月分)を除き、原価総額はFY09比減少

Ⅱ-7. システムインテグレーション(SI) ① 売上・受注等の推移

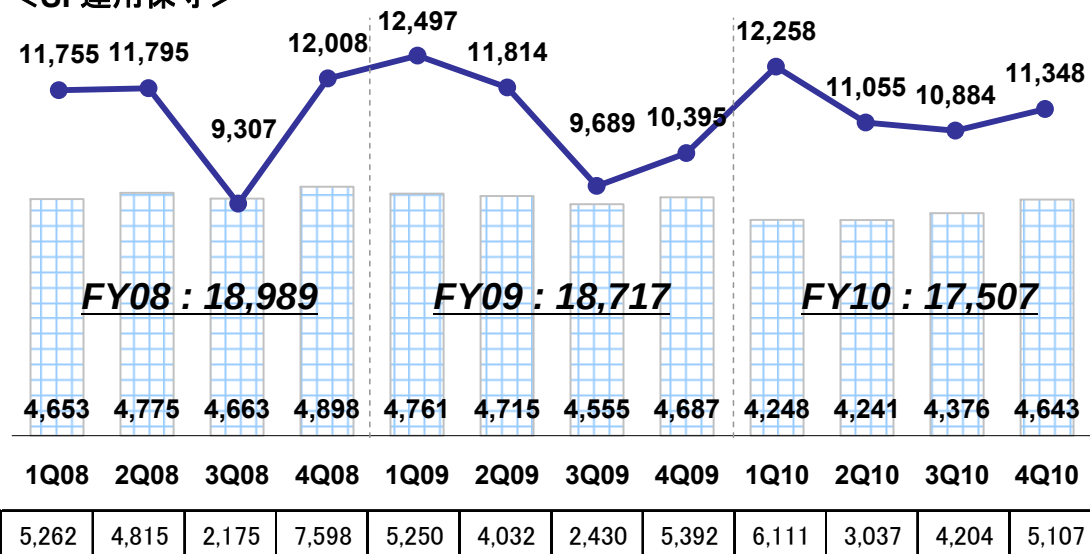
<SI 構築>



SI 構築の状況

- ◆ FY10売上: FY09比 5.1%増
- ◆ FY10末受注残高:
 - FY09末比 20.0%増、3Q10末比 36.0%減
- 中小規模案件の積上げ、クラウド導入に付帯したSI案件等が増加。1Q10からの個別大口取引縮小影響(FY10累計にて30億円減YoY)、震災影響による案件遅延等があったものの、FY10売上は5.1%増加YoY
- クラウドサービス導入を契機に新規顧客継続開拓中
- FY10受注金額は7.7%増 YoY

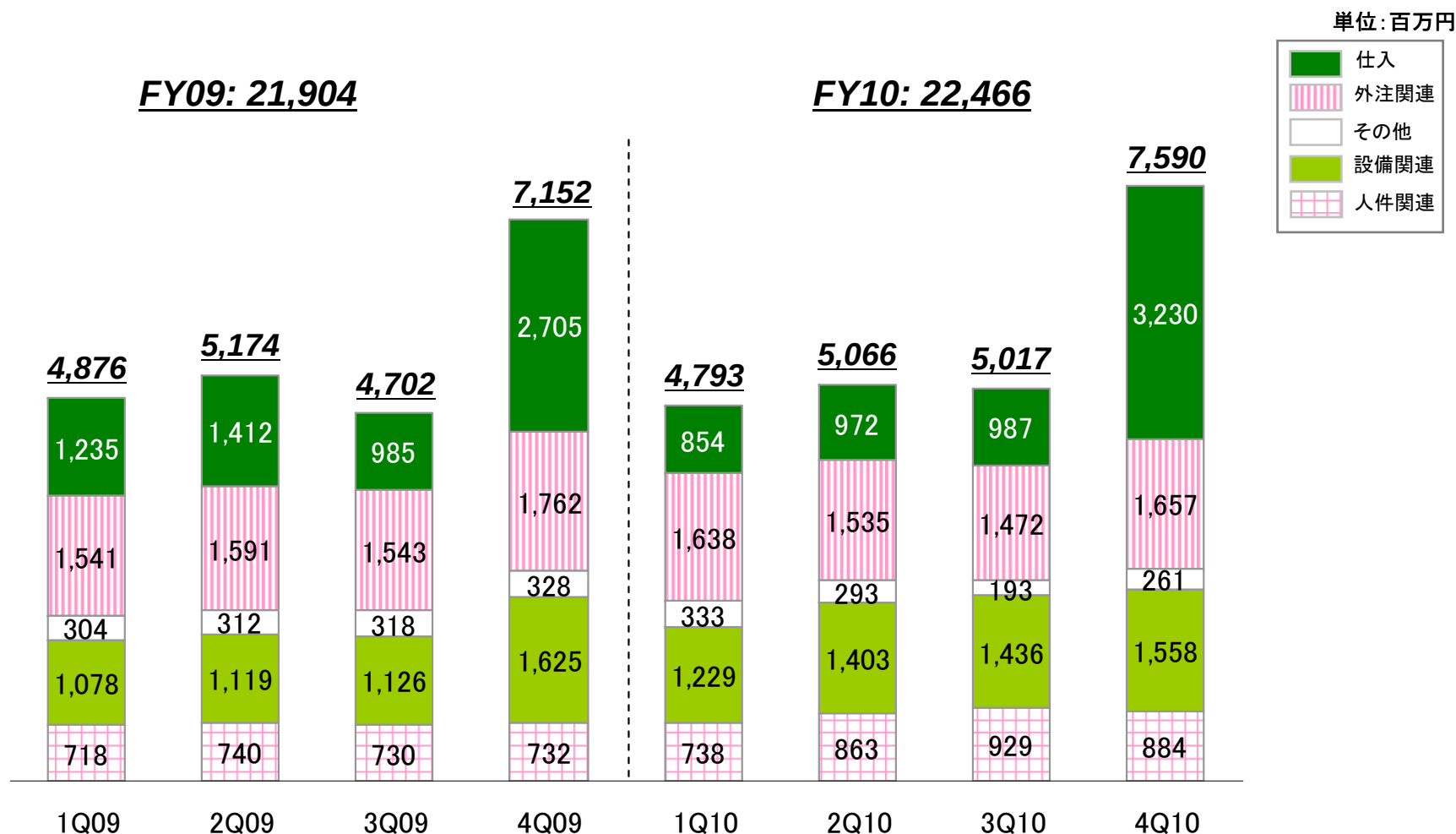
<SI 運用保守>



SI 運用保守の状況

- ◆ FY10売上: FY09比 6.5%減
- ◆ FY10末受注残高
 - FY09末比 9.2%増、3Q10末比 4.3%増
- 1Q10からの個別大口取引縮小(FY10累計にて20億円減YoY)影響が大きく、新規保守案件を積上げるも、FY10売上は6.5%減少YoY
- 4Q10売上は、3Q10比6.1%増と、新規保守案件の積上げにより復調基調継続。クラウド関連分にて3Q10比1億円強売上増
- FY10 受注金額は5.3%減 YoY

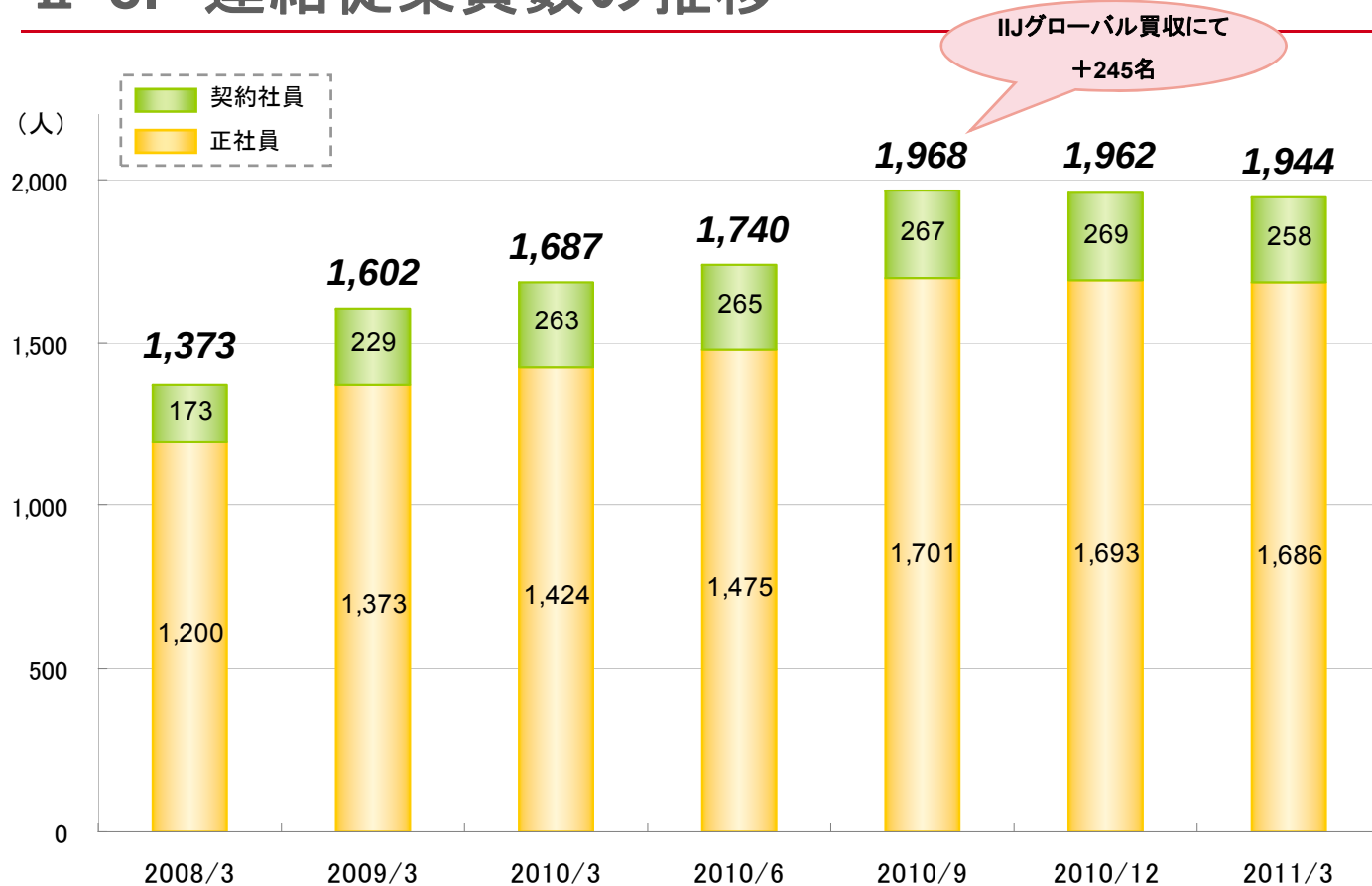
Ⅱ-7. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移



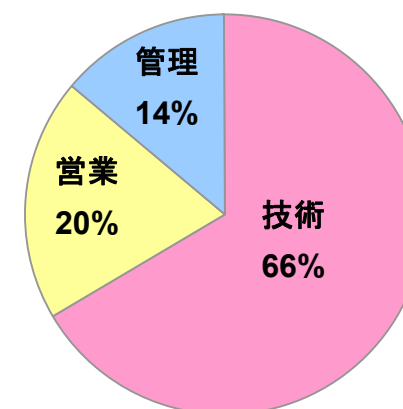
◆FY10 SI 原価総額:

- ▶クラウドサービス提供開始等による設備関連費用、人件関連費用等の増加、仕入れ以外のコスト8.6億円増YoY
- ▶常駐外注人員数は375名(4Q09末比 63名増、3Q10末比 30名増)

Ⅱ-8. 連結従業員数の推移



＜分野別人員構成＞



四半期ベース
人件関連費用総額
(売上高比率)

2,925
(18.5%)

3,112
(16.9%)

3,640
(16.2%)

3,554
(13.9%)

単位: 百万円

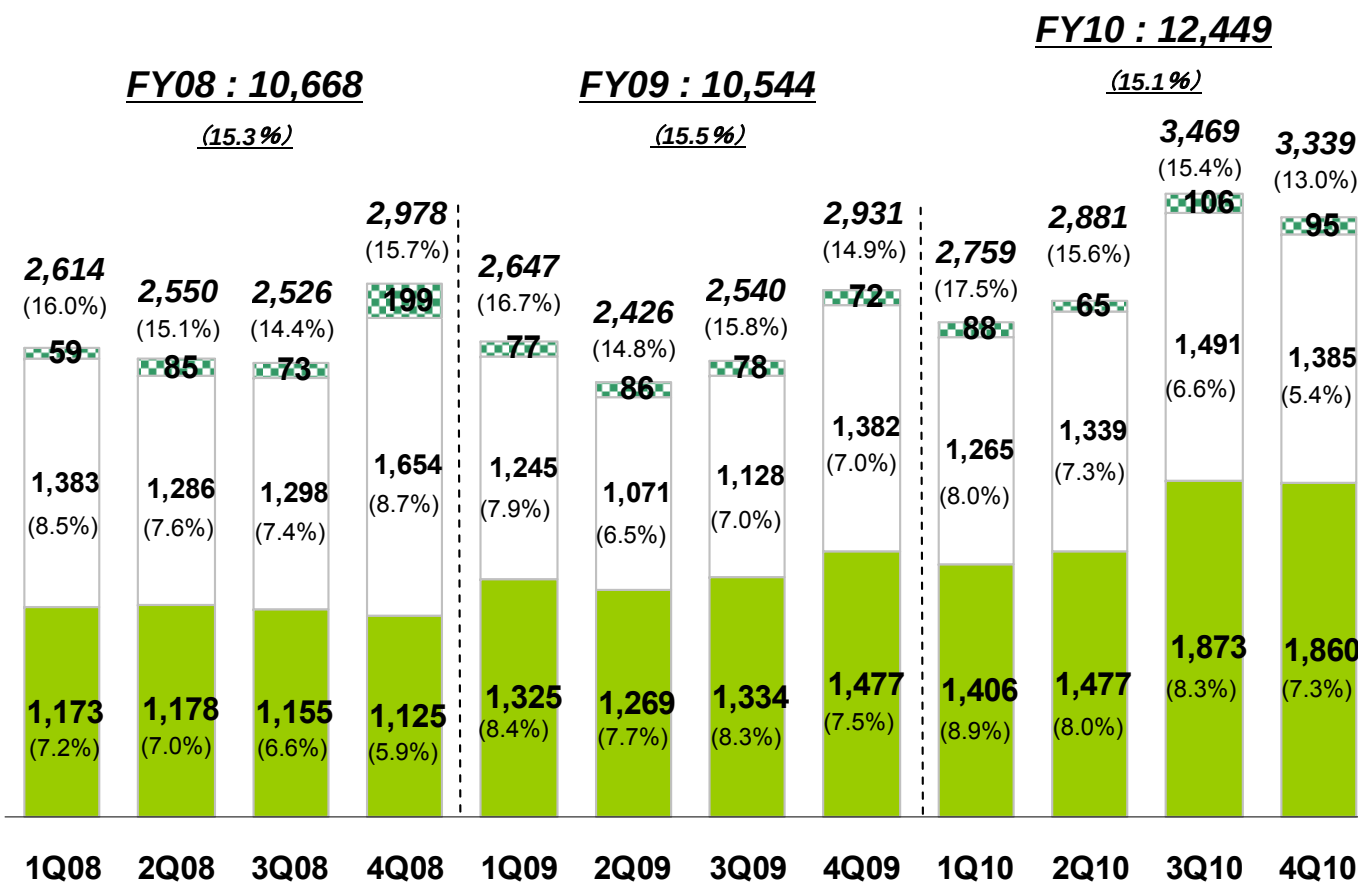
◆FY10末 連結従業員数: 1,944名 (FY09末比 257名増、3Q10末比 18名減)

- 2011年4月新卒新入社員数: 44名 (2010年4月実績: 60名、2009年4月実績: 77名、2008年4月実績: 92名)
- 2011年度期初にIIJ-FS関連人員 約20名減
- 2011年度は約100名の人員増と想定

Ⅱ-9. 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移

販売費
 一般管理費
 研究開発費
 () 売上比率
 単位: 百万円

(百万円)



IIJグローバル	2Q10	3Q10	4Q10
販売管理費	224	777	767

◆FY10 SG&A: FY09比 18.1%増

- (販売費)IIJグローバルに係る償却対象無形固定資産(顧客関係)償却費用 255百万円、非償却無形固定資産の除却費用120百万円
- (一般管理費)資産除去債務に係る費用70百万円及び次期予定のオフィス変更に伴う原状復旧費用48 百万円
- 既存分(除くIIJグローバル)は10,682百万円とFY09比微増
- ATM運営事業に係るSG&A: 159百万円(FY09: 243百万円)

Ⅱ-10. 営業利益・当期純利益の推移

単位: 百万円

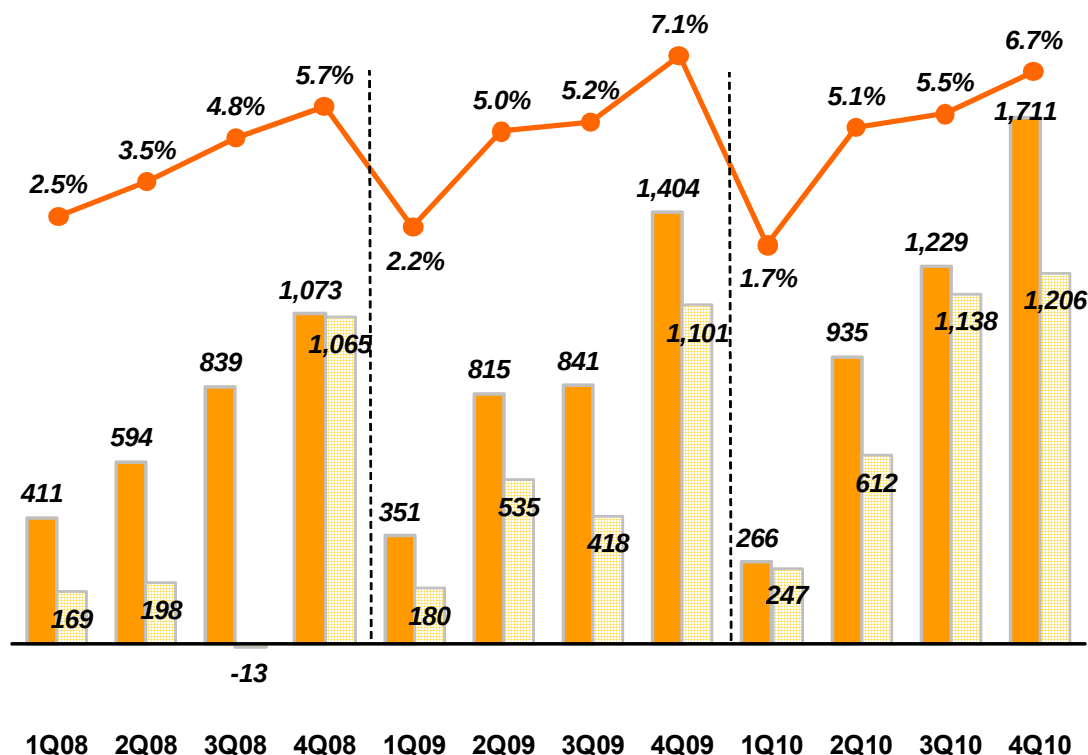
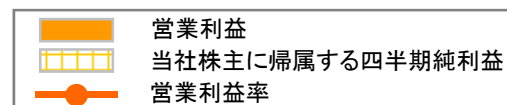
FY08 営業利益 : 2,917

FY08 当社株主に帰属
する当期純利益 : 1,419

FY09 営業利益 : 3,412

FY09 当社株主に帰属
する当期純利益 : 2,234

FY10 営業利益 : 4,141

FY10 当社株主に帰属
する当期純利益 : 3,203

◆FY10 営業利益:

- 4,141百万円 (FY09: 3,412百万円)
- ネットワークサービス売上総利益増加
- IIJグローバルに係る営業利益(7ヶ月分)寄与
- ATM運営事業の営業損失縮小

◆FY10 税引前当期純利益:

- 3,834百万円 (FY09: 2,859百万円)
- その他の費用: 投資有価証券減損損失の減少、投資有価証券売却益の増加、支払利息の減少等にて307百万円の費用 (FY09: 553百万円の費用)

◆FY10 当社株主に帰属する当期純利益:

- 3,203百万円 (FY09: 2,234百万円)
- 非支配持分に帰属する当期純損失はトラストネットワークス及びGDX Japanに係る損失を計上

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
法人税等	244	284	514	90	120	160	179	496
税効果会計による法人税等調整額	186	187	418	△34	88	75	78	365
持分法投資損益	32	11	85	32	34	△3	98	△7
非支配持分に帰属する四半期純損失	93	82	90	83	54	48	51	50

Ⅱ-11. 連結バランスシート(サマリー)の状況

単位: 百万円

	2011年3月末	2010年3月末	前期末比
現金及び現金同等物	13,314	8,764	+4,549
売掛金	16,431	11,397	+5,035
たな卸資産	601	808	△ 207
前払費用	1,680	1,593	+87
繰延税金資産(流動)	978	1,571	△ 592
その他投資	2,794	2,582	+212
有形固定資産	16,481	12,970	+3,511
のれん及び その他無形固定資産	11,843	6,440	+5,403
繰延税金資産(非流動)	16	685	△ 669
銀行借入金(短期)	13,430	4,450	+8,980
買掛金及び未払金	13,574	6,968	+6,606
欠損金	△ 14,023	△ 16,720	+2,697
その他包括利益累計額	△ 85	169	△ 254
当社株主に帰属する 資本合計	29,652	27,320	+2,333
総資産	71,473	52,096	+19,377

▶ 主として、IIJグローバルにより増加

▶ 非上場株式 1,893百万円
▶ 売却可能有価証券 741百万円
▶ 出資金 160百万円

▶ 非償却無形固定資産 5,980百万円
のれん 5,788百万円
(内、IIJグローバル分: 2,288百万円)
商標権 192百万円
▶ 償却対象無形固定資産(顧客関係)
5,844百万円
(内、IIJグローバル分: 3,467百万円)

▶ IIJグローバル株式取得資金等

▶ 主としてIIJグローバルにより増加

▶ 当社株主に帰属する資本比率
(株主資本比率)
・2011年3月末: 41.5%
・2010年3月末: 52.4%

▶ 主としてIIJグローバルにより増加

Ⅱ-12. 連結キャッシュ・フローの状況

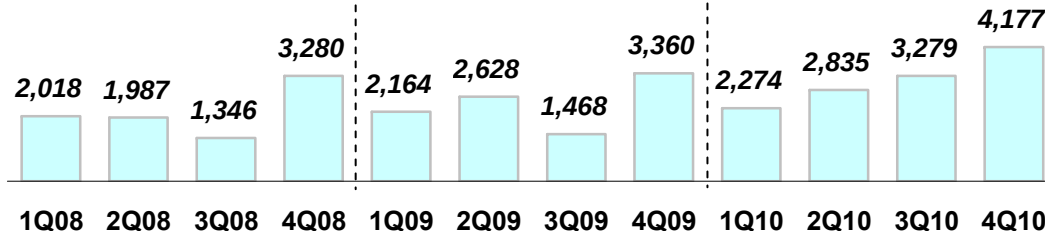
営業キャッシュ・フロー

単位: 百万円

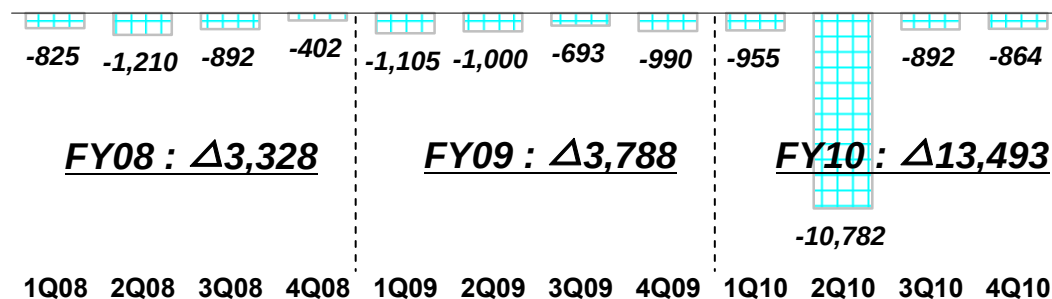
FY08 : 8,631

FY09 : 9,621

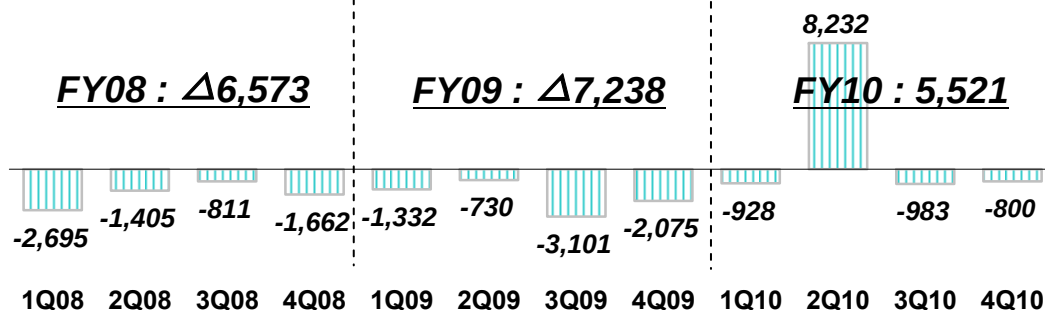
FY10 : 12,564



投資キャッシュ・フロー



財務キャッシュ・フロー



FY10 営業キャッシュ・フロー

- 営業利益の増加
- 買掛金及び未払金の増加 1,995百万円
- 未払費用、その他流動負債及び
その他固定負債の増加 1,021百万円
- たな卸資産及び前払い費用の増加 831百万円
- 売掛金の減少 △430百万円
- 等

FY10 投資キャッシュ・フロー

- IIJグローバル株式取得 △9,170百万円
- 有形固定資産の取得 △3,839百万円
- 敷金保証金の支払 △687百万円
- 等

FY10 財務キャッシュ・フロー

- 短期借入金の調達(純額)
(IIJグローバル株式取得資金等) 8,980百万円
- キャピタルリース元本返済 △2,989百万円
- 配当金の支払
(FY09期末・FY10中間配当金) △507百万円

Ⅱ-13. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

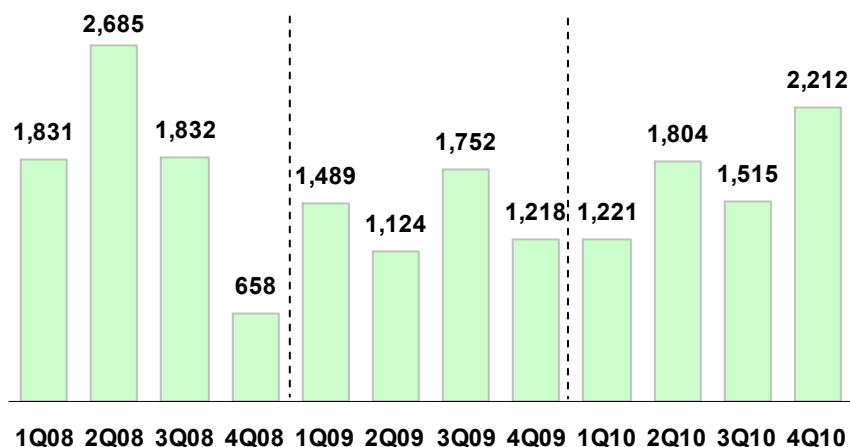
単位: 百万円

CAPEX (設備投資額、キャピタルリースを含む)

FY08 : 7,006

FY09 : 5,584

FY10 : 6,752



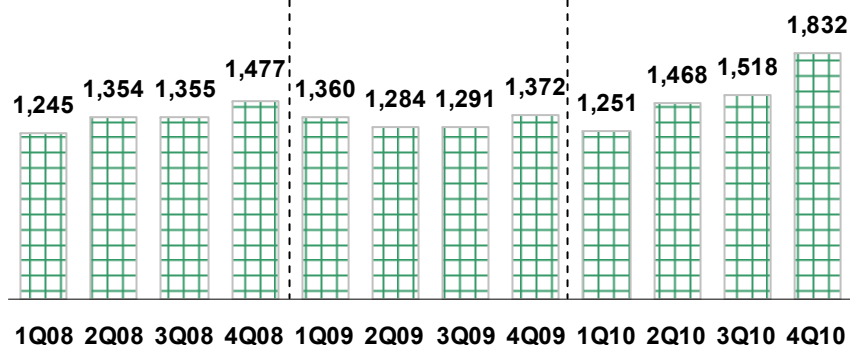
IIJグローバル分	138百万円
トラスト分	344百万円

減価償却等

FY08 : 5,431

FY09 : 5,307

FY10 : 6,069



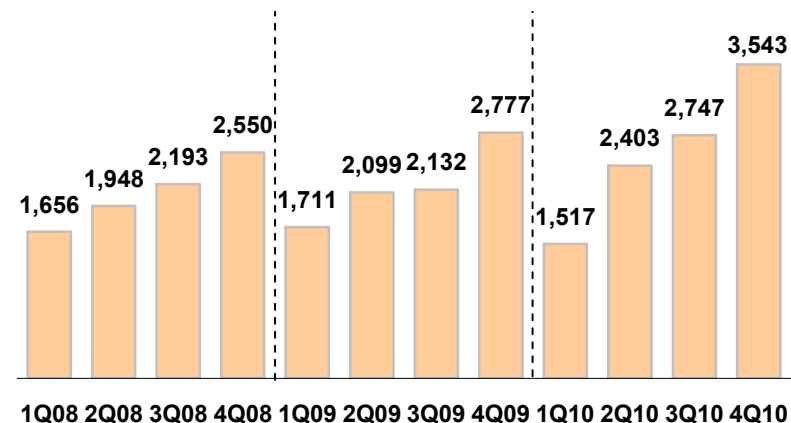
IIJグローバル分	375百万円
トラスト分	38百万円

Adjusted EBITDA (償却前営業利益)

FY08 : 8,348

FY09 : 8,718

FY10 : 10,210



Ⅲ-1. クラウド事業の進展

IIJ GIO

<クラウドサービス順調なスタート>

- ・コンポーネント(オーダーメイド型:SI運用に計上)、ホスティングパッケージ(レディメイド型:アウトソースサービスに計上)サービス
- ・10年以上のサービス提供で培ったノウハウ・品質が高評価、迅速なサービス化・提供との先行メリット
- ・FY10にて430案件超導入
 - ソーシャルアプリケーションプロバイダー(SAP)による大規模利用多数
 - 事業会社は業界・業種に偏りなく、Web基盤等の利用に加え、社内情報系・業務システム等の利用順次増加
 - 国土交通省 国土地理院・内閣府等、中央政府の利用も開始
- ・新規お客様も多数獲得、クロスセリングのドアオープナーとしても有効
- ・震災以降、バックアップサイト・BCPへの要請増加

<IIJ GIO事業 業績>

- ・2011年3月の単月GIO売上高(システム運用計上分含む):月額120百万円強
- ・FY10売上高 約6億円、収支 約△10億円 前期比約7~8億円負担増。
- ・FY11売上高計画:30億円超

<クラウド関連 設備投資>

- ・2010年度上期:IIJ GIO設備 約1,000台導入
- ・2010年度下期:IIJ GIO追加設備 約2,000台導入
- ・2011年4月26日:松江データセンターパーク開設
- ・2011年度上期:IIJ GIO約3,000台追加導入
- ・2011年度下期:需要見合いで追加導入検討



松江データセンターパーク



<パートナー、サービスラインナップ拡充>

- ・日本IBM、日本マイクロソフト等とクラウド分野で協業
- ・F5ネットワークス、ネットアップとクラウドストレージ分野で協業
- ・MSベストパートナー、日経BP社ベストクラウド基盤サービス賞受賞

Ⅲ-2. IIJグローバルソリューションズ子会社化

<子会社化概要>

- AT&TジャパンよりWANサービスをはじめ国内ネットワークアウトソーシングサービス事業を譲受
- 2010年9月1日 完全子会社化
- 顧客・人員譲渡等滞りなく買収完了
- 顧客数 約1,600社、社員数 約240名
- 買収金額: 91.7億円(主に短期借入金)

<FY10連結業績への影響額>

(B/S)

- | | |
|-----------|-----------|
| ●流動資産 | 11,021百万円 |
| ●固定資産 | 8,922百万円 |
| うち、無形固定資産 | 5,763百万円 |
| ●流動負債 | 8,198百万円 |
| ●固定負債 | 1,937百万円 |

(P/L)(7ヶ月分)

- | | |
|---------|-----------|
| ●営業収益 | 15,094百万円 |
| ●売上原価 | 12,137百万円 |
| ●販売管理費 | 1,767百万円 |
| ●営業利益 | 1,190百万円 |
| ●営業利益率 | 7.9% |
| -顧客関係償却 | 255百万円 |

<IIJグローバルソリューションズの事業領域>

- 金融・製造業をはじめ約1,600社の優良法人顧客基盤
 - 大手金融機関の社内閉域通信網、国内数千拠点の拠点間閉域通信網等の提供
- WANサービス提供に強み
 - 国内優良法人向けにネットワークアウトソーシングサービスを継続提供
 - キャリアニュートラルなネットワークインテグレーション
 - AT&T・他国際キャリアと連携した国際ネットワーク関連サービスの提供
- 日本IBMとのセールスパートナシップ、優良法人顧客を維持・発掘してきた実績

<今後の事業展開・シナジー効果>

- 2010年9月よりグループ営業連携開始、クロスセリング案件順次受注
- 2011年3月よりアジア・欧州通信事業者と提携のうえ「グローバルネットワークアウトソーシングソリューション(Global NOS)」を強化、ワンストップ窓口にて海外展開するお客様を支援
- 2011年夏より、IIJ独自開発の次世代ネットワークマネジメント「SMFv2」のマネジメントサービス基盤「SACM(Service Adaptor Control Manager)」用いたネットワークマネジメントサービス提供開始予定
- 5月より本社神保町移転。グループ連携強化・コスト効率化

Ⅲ-3. ATM運営事業進捗状況

<ATM運営事業 業績推移>

- ・FY10 売上高5.2億円、営業損失6.4億円
- ・本日現在 280台稼動
- ・1Q10以降、外注・業務委託等、コスト低減により損益分岐点改善

(百万円)

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
売上高	7	31	70	98	106	123	125	164
原価	192	215	277	281	229	227	247	297
SG&A	49	50	56	88	37	36	42	44
費用	240	265	333	369	266	263	289	341
営業損失	△233	△234	△263	△270	△161	△140	△165	△177

<震災影響>

- ・2011年3月は導入工事中断、停電より関東で利用件数低下
- ・大手法人含み設置再開、震災後約50台導入
- ・件数は2011年4月以降復調傾向、直近は震災前水準に回復、件数増加傾向
- ・業界は若干慎重姿勢

<FY11 計画>

- ・425台設置を展望
- ・FY10比 約6億円強の営業収支改善を目指す

<ATM設置展開>

- ・FY08: 関東地区にてフィールドテスト完了(10台)
- ・FY09: 関東・関西地区にて設置開始。
- ・FY10: 一時中断したが下期より設置再開、九州地区設置開始
- ・FY11: 関東・関西・九州地区にて展開予定

<㈱トラストネットワークス 事業概要>

- ・連結子会社㈱トラストネットワークスにてATM運営事業推進
- ・2007年7月設立 出資比率 77.8%
- ・ATM利用毎に生じる手数料収入モデル
- ・ATM機器はリースにて調達

Ⅲ-4. 2012年3月期連結業績見通し

単位: 億円

	FY11 見通し (11/4~12/3)	FY10実績 (10/4~11/3)	前年度比	
営業収益 (売上高)	1,000.0	824.2	175.8	21.3%
営業利益	63.0	41.4	21.6	52.1%
税引前 当期純利益	56.0	38.3	17.7	46.1%
当社株主に帰属 する当期純利益	34.0	32.0	2.0	6.1%
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	16,775円	15,761円	1,014円	6.4%

(増収要因)

- IIJ GIOを始めとするネットワークサービス及びSI事業の従前以上の売上伸張

IIJ GIO売上: FY10 約6億円→30億円超規模

- IIJグローバルに係る売上高の通期寄与
- ATM運営事業の立ち上がりに伴う売上増加

(増益要因)

- IIJ GIOの収支改善を含むネットワークサービス及びSI事業の増益にて約11億円見込み

- IIJグローバルに係わる営業利益の通期寄与にて約5億円見込み

- ATM運営の立ち上がりに伴う損失規模縮小にて約6億円強見込み

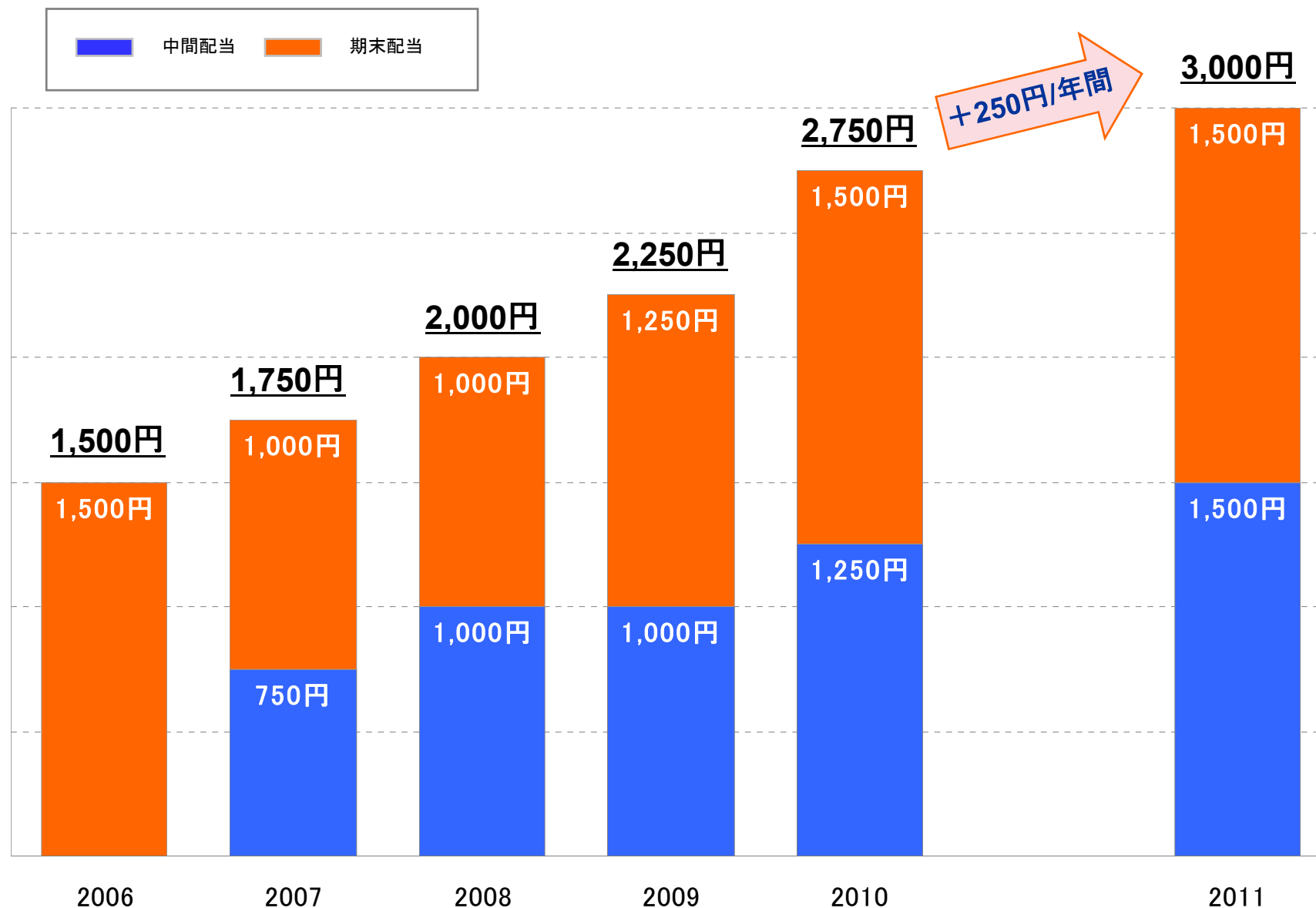
- 金利他の費用水準を勘案

- 2012年3月期よりほぼ通常実行税率の見込み

今後3年～5年の中期スパンでのクラウドコンピューティングの急速な普及可能性は、信頼性の高いネットワークインフラを運営のうえネットワークサービスを自社開発・提供し、また多くの国内優良法人顧客をもつIIJグループにとって絶好のビジネスチャンスと認識。

クラウドサービスの先行メリットを発揮し、クラウド需要を的確に捕捉のうえ最適にコスト・設備投資をコントロールしながら、今後の5ヶ年程度で事業規模を倍増とするような加速的成長を実現していくべく、邁進してまいります。

Ⅲ-5. 2012年3月期 配当予想



Ⅲ-6. グループ会社一覧

(2011年4月末現在)

	社名	出資 比率	主な事業内容
連結 子会社	 (株)ネットケア	100%	ネットワークシステムの運用監視、カスタマーサポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IIJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
	 (株)IIJイノベーション インスティテュート		インターネット技術開発および インキュベーション事業等
	 (株)IIJグローバルソリューションズ		WANサービス等国内ネットワークアウトソーシング関連 および国際ネットワーク関連サービスの提供
	 (株)トラストネットワークス	77.8%	ATM・ネットワークの運営等
持分法 適用 関連会社	 GDX Japan(株)	62.3%	メッセージ交換ネットワークサービスの提供等
	 インターネットマルチフィード(株)	32%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 (株)トリニティ	45%	ポイント管理システムの提供等

Ⅲ-7. 主要プレスリリース一覧

		日付	項目
FY10	4Q	2/21	IIJ、モバイル無線LANルータ「FS810WR」を提供開始
		2/22	IIJ、F5ネットワークス、ネットアップの3社がクラウドストレージ分野で協業
		2/23	IIJ、REST API型クラウドストレージサービスのトライアル「IIJ GIOストレージサービス FV/S(β 版試用プログラム)」を提供開始
		2/28	IIJグローバル、新たなグローバルネットワークアウトソーシングソリューションを提供開始
		3/1	IIJ、日経BP社の「第2回クラウドランキング」において、3部門でベストサービスを獲得
		3/8	IIJ、文部科学省政策創造エンジン「熟議カケアイ」のインフラをクラウドサービス「IIJ GIO」にて構築
		3/9	IIJ、「IIJモバイルサービス/タイプD」において、「三段階定額プランL」を提供開始
		3/14	IIJ、東北地方太平洋沖地震で被災された方々に向けた情報発信を行う企業、自治体を対象に「IIJ GIOホスティングパッケージサービス」を無償提供
		3/16	IIJ、東北3県(岩手、宮城、福島)の自治体Webサイトのミラーサイトを一覧で提供開始
		3/18	東北地方太平洋沖地震、ならびに長野県北部の地震で被災されたお客様に対するサービス利用料金の措置について
		3/22	IIJ、東北地方太平洋沖地震で復興支援を行う自治体および公共団体などを対象に「IIJ GIOサイボウズ ガルーン SaaS」を60日間無償提供
FY11	1Q	3/25	新任執行役員の選任について
		4/1	「hi-ho モバイルコース—WiMAX」の提供開始について
		4/5	IIJ、「IIJ広域負荷分散サービス」を提供
		4/6	IIJ、「IIJ GIOホスティングパッケージサービス」のオンライン販売を開始
		4/7	IIJ、Ooyala(ウーヤラ)社と動画配信分野で提携
		4/12	IIJ、国内1,000店舗のバリミキにiPadを導入 IIJ Smart Mobile Managerで遠隔管理を実現
		4/13	IIJ、「SMFv2」の管理機能を提供するOEM専用基盤「SACM」を提供開始
		4/14	IIJと日本IBM、クラウド・コンピューティング分野で協業
		4/21	IIJがFXプライム向けにASP型FXシステム「IIJ Raptorサービス」を提供
		4/26	IIJ、「松江データセンターパーク」を開設し、IIJ GIOプライベートHaaSの提供を開始
		4/27	IIJと日本マイクロソフト、事業継続性を向上させるクラウドサービスで協業

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ（財務部）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311

URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: ir@ij.ad.jp



Internet Initiative Japan